

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
芸術	書道 I	2	1年全科	(選択) 必修	新編書道 I (教育出版)	

学習目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を伸ばす。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に着けている。
	「思考・判断・表現」 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい捉えたりすることができるようにする。
	「主体的に学習に取り組む態度」 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を育もうとしている。
評価の方法	「知識・技能」 机間巡視による観察・作品
	「思考・判断・表現」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物
	「主体的に学習に取り組む態度」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物・プレゼンの取り組み

学期	学習計画および内容
1 学期	漢字の書: 楷書(『九成宮醴泉銘』・『孔子廟堂碑』・『牛橛造像記』)の臨書を中心に用具用材の特性を理解する。古典をしっかり見ることを重視した上で、書く技能を身に付ける。 漢字の書: 好きな漢字1文字を字書で調べ、うちわに創作する。また、同じ講座のメンバーの作品を鑑賞する。美しく書くだけでなくうちわを使用する人や場面、場所などを考えて撰文をする。
2 学期	漢字の書: 行書(『蘭亭序』)を講座全員で分担、全臨する。用具用材の特性を理解し、原寸の古典を拡大し半紙に6文字臨書する。 篆刻: 2.5cm角の印材に姓名印を刻す。(白文) 仮名の書: 平仮名の学習。字母を理解し仮名のリズムを意識し表現する。
3 学期	漢字仮名交じりの書: 漢字かな交じりの書の幅広い表現の活動に取り組む。文字の大きさや全体構成、自ら考え理想と感ずる作品に少しでも近づけるよう工夫し完成させる。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	・教材費として3000円必要となる。 ・クラスの状況によっては学習計画及び内容が変更となる場合がある。
---------------------------	--